



猫の耳ダニ症(耳疥癬)とは？ 治療方法や正しい耳掃除の方法もご紹介

猫が耳ダニ症に感染すると、耳の痒みが出るため、足で耳を過剰に掻くようになり、頭を振るような仕草も頻繁に見られるようになります。今回は、飼い猫が耳ダニ症に感染した場合の治療方法や、感染の原因・症状、正しい耳掃除の方法などを詳しくお伝えしていきます。



猫の耳ダニ症の原因とは？

猫の耳ダニ症は、耳疥癬症（みみかいせんしょう）とも呼ばれる、強い耳の痒みが出る病気のことを指します。耳ダニ症の原因となるのは、ほとんどの場合、ミミヒゼンダニと呼ばれる小さなダニの寄生です。

耳ダニに感染するルートとしては、猫が生まれた時に親猫からうつる感染経路と、野良猫や他の猫からうつる感染経路の2種類が挙げられます。

猫の耳ダニ症の症状とは？

猫が耳ダニに感染すると、黒い耳垢が見られる、耳から異臭がする、激しく頭を振るようになる、壁や床などに耳を頻繁に押し付ける、後ろ足で耳の周りを過剰に掻く、飼い主から耳を触られるのを嫌がるようになるなど、様々な症状が出ます。

猫が耳を過剰に掻くことで、炎症などが発生し、外耳炎や耳血腫などを併発することもありますので、耳の汚れを発見したり、痒がったりする仕草を発見次第、早めの段階で動物病院での診断を受けることをおすすめします。

猫から人・他の動物などに感染する危険性はあるか

耳ダニは、猫だけでなく、飼い主などの人間にも感染する可能性があるため、注意が必要となります。人間に耳ダニが長く寄生することはないので、症状はあくまでも一時的なものです。

しかし、猫の耳ダニを駆除しなければ、居住環境に耳ダニが生息し続けることになるため、感染している猫を治療しない限り、飼い主が耳ダニに噛まれる症状は続く危険性があります。

また、多頭飼いをしている、他の猫を飼っている場合も、感染している猫を媒介にして、耳ダニの症状が広がる可能性があるでしょう。

耳ダニ症の治療方法

耳ダニの症状が見られた場合、以下のような治療方法があります。

・動物病院で耳ダニがいるのかどうかを診察してもらう

まずは、耳ダニが実際に生息しているのかどうか、猫の外耳道の耳垢を採取し、獣医師が顕微鏡で観察して、診断を実施します。

・耳ダニの駆除薬を処方してもらう

猫の耳ダニ症には駆除薬を投与して治療を行います。耳ダニの駆除薬は、多くがスポットタイプ(薬剤を垂らして使うタイプ)となっており、猫の肩甲骨の間など、グルーミングによって舐め取られない部位に投与を行います。

猫の耳掃除の正しい方法

・コットンで綺麗に耳を拭く

猫の耳掃除用のクリーナーや、水などをつけたコットンを用いて、強くこすらず、優しく耳の穴を拭いてあげるのがポイントです。

・耳拭き用の布クリーナーを使用する

市販されている、耳拭き用の布クリーナーを使用するのも良いでしょう。コットンを用意するよりも簡単に猫の耳掃除を行うことができるため、初心者の方にもおすすめできます。

・洗淨液を使用する

猫の耳掃除を行う際に使用するアイテムの一つとして、耳洗淨液が挙げられます。耳洗淨液は、イヤークリーナーとも呼ばれている薬剤で、猫の耳の穴に直接垂らすことも可能です。

耳洗淨液の使用に猫が慣れてきた場合は、耳の穴の中に液を数滴ほど垂らしてしばらく待ち、耳の付け根あたりを優しく揉んであげると、耳の穴の内部に付着している汚れが浮いて出てきます。あとは、これらの汚れを、コットンなどを用いて拭き取ってあげれば、猫の耳掃除は完了となります。

耳ダニ症の疑いがある場合は、早めに獣医師へ相談して治療

動物病院では、耳ダニ症の具体的な原因の特定から、適切な治療方法の選択まで、獣医師のチェックによって詳しく診断することができます。その他、健康診断や、ノミ・マダニなどに代表される寄生虫に対する対策・予防なども実施してもらうことができ、総合的な健康管理を行うことが可能です。

万が一、耳ダニ症に近いような症状に飼い猫が悩まされている場合は、決して放置することなく、近所のかかりつけの動物病院で診察を受け、正しい治療方法や予防方法を獣医師から教えてもらうようにしましょう。

ノミ・マダニに関する最新情報をチェック!

☎ LINE 公式サイト LINE@友達募集中 →

